



# 白桜小だより

平成30年度 9月号  
中野区立白桜小学校  
校長 宇賀神 佳子  
平成30年 9月 3日発行

## 「チーム白桜」が育むもの

校長 宇賀神 佳子

42日間の夏休みが終わり、学校に元気な子供たちの声に戻ってきました。子供たちの活気や笑顔が身近にあるだけで、私たちも心がシャキッとします。これから夏休みの作品展等を通して、伸び盛りにある子供たちがどんな経験をし、成長してきたのか、そうしたことに触れ合うのがとても楽しみです。

私たち教員も、今年は3日間の「学校休止日」が設定され、学校業務から離れることとなりました。しかしその一方で、今年は中野区学校教育向上事業2年次で研究発表をする年、その発表準備のために、子供たち同様に宿題が課せられています。報道にも在るように、昨今は教育の取組が大きく変化し、私たち教員も常に学びの姿勢で研修していないと、とてもその動向に付いていけないものではありません。これまでの先入観や規定の枠組みを通して物事を捉えようと、指導の方向を大きく間違ってしまう。

そうした中で、手前味噌ですが、本校の先生方は本当によく頑張っています。子供たちに英語で発話を促すために、また授業の中で、楽しく多様な関わりがもてるように、様々な工夫を重ねています。こうした何かを目指して一生懸命に取り組んでいる姿は、必ず子供たちに伝わっているでしょうし、見えないところでも努力を継続する姿勢は、子供たちに何かを考えるきっかけを与えていることと思います。そして何よりも、低、中、高学年の各ブロックで授業検討を行ったり、様々な部会を開催して教材や掲示物を創ったりなど、先生方のまとまりを多様に作りながら、常に前向きに取り組んでいます。

この3年間で思うことは、こうした「チーム」での取組で、一人一人の取組が互いによく補完されていくということです。経験を積んだ教員と採用されて未だ数年の教員とが、一緒に仕事をしていくなかで、互いの考えを認め合ったり、活かしたり、時に応援したり支えたりという関わりが、ここ数年で本当に多く見られるようになりました。相手を否定したり排除したり、自己主張が強すぎたりするのでは、組織のまとまりが壊れてしまうのです。もちろん今の「チーム白桜」になるためには何度も調整を重ねてきました。しかし最終的には、本校の教員はそれぞれのよさを、そして互いのよさを認め合い、高め合うところに至りました。そこに高い成果が生まれると大いに期待できます。

11月2日（金）には、いよいよ全都に向けて、中野区学校教育向上事業研究発表校として、白桜小学校の取組を発信します。私たちが頑張って取り組んできたことなので、自信をもってしっかりと発表して参ります。

どうか「チーム白桜」の取組に、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

### 中野区学校教育向上事業 研究発表会

「子どもが英語に楽しくかかわろうとする授業づくり」

平成30年11月2日（金） 午後1時40分～